

さらば、重労働



無酸化炉

フリーダム
Freedom

困難な「溶解炉の清掃作業」から“解放”されます。

無酸化炉「フリーダム」は、炉内の酸化物発生を大幅に抑えることができる、新型の溶解炉です。

通常、溶解炉でのアルミ合金の溶解では、高熱と化学反応により炉内に酸化物が発生します。酸化物を頻繁に除去する必要がありますが、ここでの清掃作業は高温下かつ重労働であり、長年、ユーザー様の大きな課題となっておりました。

フリーダムは、溶解室と保温室を互いに独立制御するとともに、溶解室には高効率のショートフレームバーナーを、保温室にはフラットフレームバーナーと熱交換器を採用しております。これらの相乗効果により、炉内の雰囲気温度を下げ、かつ炉内の残留酸素濃度を抑制し、わずかな清掃回数(年1~2回程度)で済むレベルまで酸化物の発生を抑えることを実現しており、ユーザー様よりご好評をいただいております。

Point

「6ヵ月間清掃無し」での炉内状況



溶湯の表面に3~5mmの酸化被膜ができますが、硬化しないため炉壁に付着した酸化物は簡単に除去が可能です。

会社概要 (2018年9月30日現在)

社 名 日本ルツボ株式会社(登記上社名:日本坩堝株式会社)
Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設 立 明治39年(1906年)12月
本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル
TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
資本金 7億452万円
証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ
証券コード 5355
従業員数 連結 224名 単体 159名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日~翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株 (2018年10月1日をもって1,000株から100株に変更いたしました。)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告(http://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推進し進めてまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。

Challenge

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

URL:<http://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第179期 中間報告書

2018年4月1日~2018年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

当社は、グループ一丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しおよび設備投資の増加に伴って企業収益の堅調が持続し、緩やかな回復基調で推移しました。先行きに関しましては、米中貿易摩擦の激化等の懸念材料はありますが、雇用・所得環境の改善等の効果も寄与し、景気回復が続くと見込まれております。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、西日本豪雨の影響等で国内生産台数が前年比若干減少いたしました。国内販売台数は前年並みとなりました。

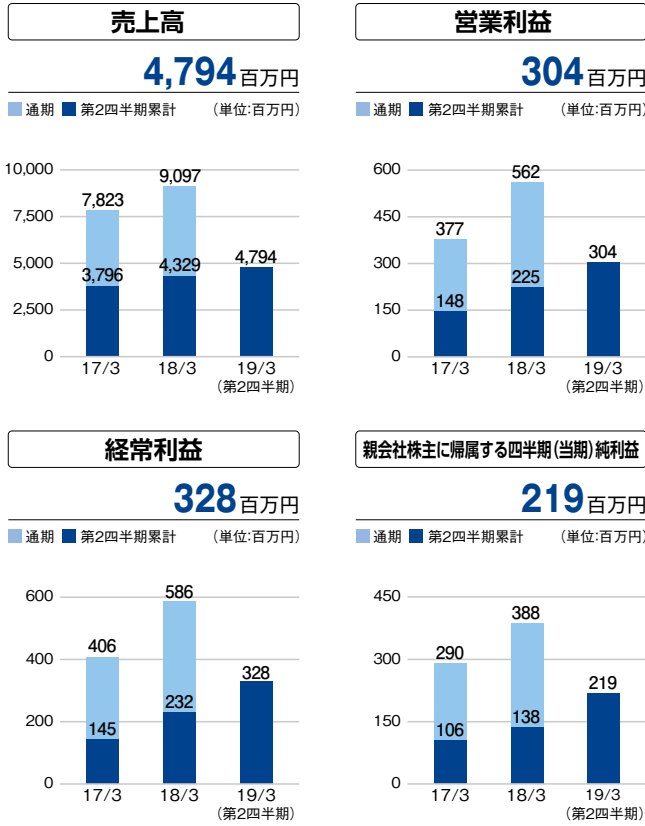
鉄鋼産業は、国内粗鋼生産量は前年比微増となりましたが、中国の粗鋼生産増加が続いており、また米国の鉄鋼輸入制限に代表される通商問題などの需要下振れ要因もあって、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億9千4百万円と前年同四半期比10.7%増加いたしました。利益面では、営業利益は3億4百万円（前年同四半期比35.1%増）、経常利益は3億2千8百万円（前年同四半期比41.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千9百万円（前年同四半期比58.5%増）となりました。

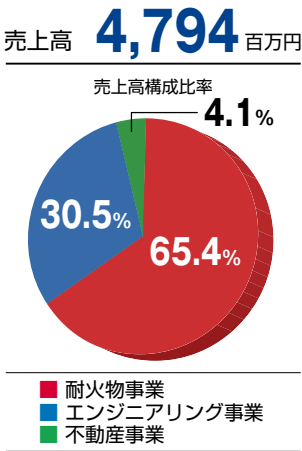
当社は、グループ一丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
大久保 正志

連結財務ハイライト



セグメント別概況(連結)



耐火物事業

売上高 3,136 百万円

鑄造市場向けは、主力製品の販売が増加いたしました。鉄鋼市場向けは、高炉工事の受注が増加いたしました。その結果、耐火物事業全体の売上高は前年同四半期比11.0%増加いたしました。

連結財務諸表

	当第2四半期連結累計期間 (2018.9.30)		前連結会計年度 (2018.3.31)	
	(単位:千円)			
資産の部				
流動資産	6,498,878		6,449,031	
固定資産	4,508,723		4,547,531	
(有形固定資産)	(2,556,675)		(2,626,092)	
(無形固定資産)	(364,940)		(346,314)	
(投資その他の資産)	(1,587,108)		(1,575,125)	
資産合計	11,007,601		10,996,562	
負債の部				
流動負債	4,029,285		4,014,736	
固定負債	2,476,576		2,630,668	
負債合計	6,505,861		6,645,404	
純資産の部				
株主資本	4,226,233		4,102,150	
その他の包括利益累計額	275,507		249,008	
純資産合計	4,501,740		4,351,158	
負債純資産合計	11,007,601		10,996,562	

	当第2四半期連結累計期間 (2018.4.1-2018.9.30)		前第2四半期連結累計期間 (2017.4.1-2017.9.30)	
	(単位:千円)			
売上高	4,794,103		4,328,925	
売上総利益	1,293,191		1,205,901	
営業利益	304,426		225,376	
経常利益	327,865		232,160	
税金等調整前四半期純利益	326,569		211,686	
四半期純利益	218,699		138,011	
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,699		138,011	

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。